

【声に出して読む】 俳句 正岡子規 四

雪残る 頂ひとつ 国境

ゆきのこる いただきひとつ くにぎかい

野菊咲く 野はありのまま 夕日かな

のぎくさくのはありのまま ゆうひかな

鶯の 鳴くやさびしき 桜ちる

うぐいすのなくやさびしき さくらちる

くれなるの 二尺伸びたる 薔薇の芽の

くれないのにしゃくのびたる ばらのめの